

外国人観光客に向けた 阪急阪神グループのおもてなし

今年9月に開港20周年を迎える関西の空の玄関・関西国際空港では、円安やLCCの乗入れ増などにより、国際線の便数、外国人旅客数ともに最多記録を更新中です。更に、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)に新たなエンターテイメント・エリアがオープンし、これからも外国人観光客の増加が見込まれる関西。その関西において阪急阪神グループが力を入れるインバウンドの取組みや外国人観光客向けのおもてなしを紹介します。

インバウンド事業の パイオニアに聞く

訪日旅行者向けの阪急全線乗降フリー乗車券「HANKYU TOURIST PASS」が、韓国での売上枚数を1年で3.2倍に伸ばすなど関西を訪れる韓国人旅行者の人気を集めています。その仕掛人がこの人、HANKYU HANSHIN EXPRESS (KOREA)の木花圭。沿線を中心にグループ全体で東アジアの成長を取り込むため、単身で韓国に乗り込み、グループのインバウンド事業を牽引する新たなビジネスモデルの構築をめざしています。



HANKYU HANSHIN EXPRESS (KOREA)
旅行事業部長 木花 圭

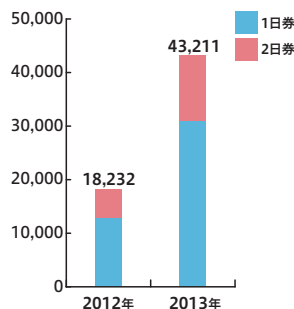
●韓国から「HANKYU TOURIST PASS」 利用者呼び込み、沿線をうるおす

私は、昨年4月から国際物流を手掛けるHANKYU HANSHIN EXPRESS (KOREA)に出向し、阪急電鉄から初めて韓国に赴任。韓国に日本へのインバウンド拠点を設置し、HANKYU TOURIST PASSを販売しています。関西を訪れる韓国人にHANKYU TOURIST PASSで阪急電車にご乗車いただき、沿線でショッピングやレジャーを楽しんでもらうことで、商業施設、レジャー施設、ホテルなど様々な事業を展開するグループへの波及効果が見込まれるからです。

HANKYU TOURIST PASSの価格は、韓国、台湾などの運賃水準に合わせて1日券が700円、2日券が1,200円とかなりお得。大阪から京都、神戸を効率よく訪れたい韓国人旅行者に好評で、特に拠点設置後の売上の伸びが顕著です。

2012年度の販売枚数は2,950枚、昨年度は9,520枚に急増。本年度は4～6月の3ヶ月間ですでに12,780枚を売り上げています。今は、韓国から大阪を1年間に訪れる旅行者の10%程度に当たる約5万枚の販売を目標としています。韓国国内における関西への注目の高まりなどを考えるとそれほど高いハードルではないと考えています。

HANKYU TOURIST PASS
販売実績 単位:枚



HANKYU TOURIST PASS
韓国での販売実績 単位:枚

